

担い手育成基盤整備事業

— 大型圃場整備、茂内地区でスタート —

若者の農業後継者不足による農業従事者の高齢化、米輸入の部分開放など、農業を取り巻く環境は、大変厳しい状況にあります。「担い手育成基盤整備事業」は、生産性の向上、生産コストの低減などを図り、農産物の内外価格差を是正し、地域農業が生き残るために、農業経営の体質を強化するために進められているものです。

担い手育成

基盤整備事業の内容

高生産性を目指す圃場の大区画化と農業の担い手への農地の集積を図る目的で、国が推進しているこの事業は、大型圃場整備のほか、次に次のような整備を行います。

【農業生産基盤整備事業】

- ☆農業用排水施設の整備
- ☆農道、農道橋など運搬施設としての農道整備
- ☆農用地の客土、暗きょ排水施設の整備

【農村生活環境基盤整備事業】

- ☆農業機械の運行、農業生産活動農産物の運搬等に使用する集落道の整備
- ☆農業用用水路の機能を維持するための雨水等を排水する集落内の排水施設の整備
- ☆防災安全のため、水路防護施設などの集落防災安全施設の整備
- ☆健康と憩いの場を提供することを目的とした緑地、運動公園等の農村公園施設の整備
- ☆親水、景観保全のための環境整備

1. 一畝規模の大型圃場に

長木川右岸と大茂内川左岸に挟まれた茂内地区で、担い手育成基盤整備事業がスタートします。大館市では初めてとなるこの事業は、今年度から十年間までの工期で実施され、受益面積は田七十四畝、

畑六畝の合計八十畝。受益者は、大茂内、小茂内町内の農家や担い手育成基盤整備区域内に農地を持つ近隣町内の農家合わせて百十戸です。

担い手育成基盤整備事業は、水田、畑における土地利用型農業の生産性の向上を目指すもので、これまで大小さまざままで離ればなれになっていた分散型土地利用を見直し、農地を集団化して一畝規模の大型圃場を整備します。

総事業費は九億一千七百万円。今年度分の事業費は約九千万円となっています。今年度の工事計画は、大茂内川左岸の館下地区約五畝の整地と小茂内町内の排水路整備で、稲の取り入れが終わる今月末に着工の予定です。

生活環境整備も進みます

茂内地区では、農業生産基盤整備事業として一畝規模の大型圃場化、農道、用排水路、暗きょ排水整備が進められ、一方では受益地内の農村生活環境基盤整備事業として、農機具格納庫、集落排水路、集落道、農村公園の設置も計画されています。これまで広場が無かったこの地区に、憩いの場としての公園も造られます。

茂内地区の一部は、昭和の初期に三ツ区画に整備されました。しかし、農作業機械の大型化が進んだ現在、これまでの区画のままでは作業効率が悪く、生産性の高い

農業経営を望む受益者にとって大きな障害となっていました。この事業によって、圃場区画の拡大と農地の集団化、用排水路の完全分離、道路の拡幅、大型農作業機械導入、作業の受委託などによって担い手の育成が促進され、生産性の向上、生産コストの低減が図られます。また、農道や集落道の整備によって、日常生活の利便性も向上します。この地区はこれまで道幅が狭く、農産物や生産資材の運搬、農作業機械などの交差にも支障をきたしていました。そ

受けられます

国の制度資金の融資

この事業のうち、農業生産基盤整備事業については、国から五〇%、県から三〇%の補助があり、市と受益者が一〇%ずつを負担します。農村生活環境基盤整備事業については、国と県の負担割合は同じですが、残りの二〇%は市が負担します。なお、受益者負担分については、国の制度資金を無利子で借りることができます。

茂内地区圃場整備予定区域図

